

地震予知とあなたの暮らし①



わが国は、世界有数の地震国であり、過去において、マグニチュード7以上の大地震にたびたび見舞われ大きな被害をこうむっています。

特に東海地域については、一昨年初、大地震発生の危険性が指摘されたのを契機として、社会的に大きな関心が集められています。

地震災害から、貴い人命や財産を守るためには、できるだけ早く、地震の発生を予知することがたいへん

重要です。このため政府は、地震予知の研究、観測を強力に進めるとともに、大地震発生の可能性を緊急に判定するための組織として、東海地域判定会を設置しました。

地震予知は夢ではない

地震による災害は、あらゆる災害のなかでもっともおそろしいものです。それはとつぜんおそってきて、大きな被害をもたらすからです。科学技術の発達で、いまでは台風は南の海上で発達してからひきつづき動きをとらえることができますし、急にくることでおそれられていた津波も完全とはいえませんが予報ができるようになりました。

しかし、私たちが住んでいる地面の下のことは意外に複雑でナゾの部分が多く地震のくわしいしくみや地

震予知は、未だ研究開発の段階にあり、必ずしも確実に予知ができるわけではありませんが、東海地域に張りめぐらしたヒズミ計などが急激に異常を示した場合、ただちに判定会が開かれ本当に地震がおこるか否か、緊急に判定し、みなさんにすみやかに連絡されることになっています。

震がいつ、どこでおこるかはわかりませんでした。それこそ「地震のことはナマズにきけ」というほかはありませんでした。

地震がおこるのを前もって知ることができたら…。これは地震国日本に住む私たちの夢でした。

ところが最近この夢が実現になるうとしています。「大地震がおこる前に、これをなんとか予知してみなさんにつたえよう」というこれまでになかった新しいころみが始まっているのです。(つづく)

富士電報電話局では電話をじょうずに便利にお使いいただくように、電話のつながり具合をいつも調査し「希望したとき希望した相手に一度でつながる電話」にするために努力していますが、調査結果をみますとつぎのようになっています。

◆1回でつながった数 約24万回

◆1回でつながらなかった数 約9万回 (1日中の平均)

この内訳はつぎのとおりです。

①かける側のダイヤルミス約3万回

ア、ダイヤルの途中で止める約2万4千回

イ、ダイヤルのし方の悪いもの

約2千回

ウ、ダイヤルした後すぐ切る

約4千回

②お話し中や相手不在約6万回
つながりにくい原因に、①相手の方がお話し中、②いくら呼んでも相手の方が出ない、といった場

電話をじょうずに使いましょう

合もありますが、かけ損ないによるものが少なくありません。

電話局では日頃からお客さまに正しく、じょうずにご利用いただくよう呼びかけておりますが、次の点についていっそうのご協力をお願いいたします。

▶ 相手の電話番号はメモしてお

き、メモをみながらダイヤルしましょう。

▶ ダイヤル途中で5秒くらい間をおきますとつながりません。休まずダイヤルしましょう。

▶ 市外へかけたときは、ダイヤルし終わってもすぐに呼出し音が出ませんが、故障ではありません。そのまま暫らく待ちましょう。

▶ 相手がお話し中のときは、3分くらい間をおいてかけ直しましょう。

▶ すぐに相手が出ないときでもあきらめないうで、呼出し音が10回程度鳴り終わるまで待ってみましょう。電話の事でお困りの方は104番(案内係)へ

